

令和7年度おかやま協働のまちづくり賞応募用紙

令和 7 年 8 月 25 日

岡山市長 様

応募者代表 団体名 中井子ども会
氏 名 川口 晶子

令和7年度「おかやま協働のまちづくり賞」に応募します。

募集テーマ：「子どもと一緒に未来を描けるまちづくり」

取組の名称	広報仕分けは子どもと一緒に
取組の概要 インターネット投票を行うサイトにそのまま掲載します。 今年のテーマとの関連がわかるよう、目的及び取組概要、アピールポイントを300字（句読点含む）以内で記載してください。	高島学区は比較的児童数が多いが、中井では子ども会は任意参加であり、近年参加者数が減少傾向にある。子ども会の運営方法や、子どもと保護者同士の交流に工夫が必要と感じていた。これまで市民のひろば・町内の行事案内等の広報配布物を仕分けして36班550世帯に配布する作業を、町内会と協働しながら、子ども会育成会役員である保護者のみで行ってきた。役員の負担を軽減し、役員の子どものも一緒に活動出来るようにするため、広報仕分けの活動時間や仕分け方法の見直しを行った。また年間スケジュールを作成し、町内会との連絡も口頭だけでなく、マニュアル化することで、地域の方に活動を理解して頂きやすくなるように工夫した。
成果・効果 取組を通じて得られた成果や、解決した社会課題の状況、また関連した地域への効果や変化などを書いてください。	短期間ではあるが、これまでに以下の成果を感じられた。 ① 子どもと保護者同士がコミュニケーションをとりながら協働することで、親睦が深まった。 ② 町内会や地域の方も直接仕分け場所に来られるようになり、その場で困りごとを解決出来るようになった。 ③ 明るい時間に各班へ広報を届けられるようになったため、安全性が向上した。 ④ 広報を各班に配布する際に、子どもが地域の方と顔見知りになる機会が出来た。 ⑤ 活動時間の短縮により、子ども会育成会役員の負担が軽減した。 ⑥ 子どもたちにとって、地域活動に対する興味関心を高める機会になった。 高学年の子どもたちから、子ども会活動にもっと主体的に関わりたいたいという意見も聞かれるようになり、実際ラジオ体操や地蔵盆の際に積極的に運営に参加してくれた。さらに今後の活動に生かしていくことで、子どもと保護者同士の交流が活発になることが期待できる。また地域の方とも情報を共有しながら交流することで、地域全体の相互理解と安全な地域活動が推進されることが期待できる。将来的には、子どもと保護者、地域の方がお互いを尊重しつつ、それぞれ役割を持って魅力的なまちづくりに関わっていけるような未来に繋げていきたい。

●次の書類等を添付してください。

- ①〔様式1〕協働による社会課題解決の取組の内容
- ②〔様式2〕取組実施団体概要書
- ③写真等取組イメージ画像の電子データ（1枚）

インターネット投票を行う際のエントリー一覧に使用します。エントリー一覧は、応募順（事務局受

付順)に掲載します。

- ④取組内容や成果、協働の役割などをわかりやすくまとめたシート（デジタルデータ）１枚

シートをもとに、事務局でポスターを作成し、展示等を行います（シートの作成が技術的に困難な場合は早めにご相談ください。シートづくりをお手伝いします。）

- ⑤その他取組の説明資料：A４で２ページ以内の資料を添付できます。

※提出していただいた書類等はすべて審査の対象となり、〔様式２〕以外は原則、ホームページ等で公開します。

〔様式 1〕 協働による社会課題解決の取組の内容

取組の名称	広報仕分けは子どもと一緒に		
テーマとの関連	◎取組とテーマが合致している点を書いてください。 もともと町内会と子ども会育成会役員で協働しながら取り組んできた広報の仕分け作業を、活動時間や作業内容を見直し、子どもと一緒にやり始めた。子どもが地域活動に積極的に参加することで、子どもと保護者同士や地域の方とのコミュニケーションが活性化しつつある。		
取組の目的・目標	◎取組の目的・目標を社会課題の具体的な状況をふまえて書いてください。 高島学区は比較的児童数は多いが、中井では子ども会は任意参加であり、近年参加者数が減少傾向である。子ども会の運営方法や、子どもと保護者同士の交流に工夫が必要と感じていた。これまで町内会と連絡をとりながら、子ども会育成会役員の保護者のみで地域の広報配布物を 36 班 550 世帯に仕分けし、各班に配布する作業を毎月行ってきたが、役員の負担軽減と役員の子どものと一緒に活動することを目指し、活動時間や仕分け方法の見直しを行った。		
取 組 の 内 容	◎取組の内容について具体的に書いてください。 1 取組の対象：対象地域、対象者、対象人数など 対象地域：高島学区中井町内会・子ども会 対象者：町内会役員(会長・書記・班長等)、子ども会育成会役員、役員の子ども(小学生以下) 対象人数：36 人、7 人、16 人 2 活動内容、実施方法など 活動内容：月に 1 回、中井地域の広報配布物(毎月の市民ひろば・町内の行事案内・地域包括支援センター・交番だより・隔月の公民館便り等) 36 班 550 世帯分を、回覧用と全戸配布用に仕分けして、各班に配布する方法の見直し		
		AFTER	BEFORE
	活動日時	土日 8:00～	平日 19:00～
	仕分け方法	イスを並べて順番に	机とイスで順不同
	実施日	年間スケジュールを作成	毎月 27 日前後
	参加メンバー	子ども会育成会役員＋子ども	子ども会育成会役員のみ
	活動時間	6月 60分 7月 40分	6月 90分 7月 60分
	3 工夫した点や取組の特徴 年間予定を 4 月の時点で決めて町内会役員へ連絡した。 活動時間や仕分け方法を工夫して、子どもが参加しやすいように配慮した。 子どもと子ども会育成会役員(保護者)がお互いにコミュニケーションをとりながら協働することで、親睦が深まった。 町内会や地域の方も直接仕分け場所に来られるようになり、その場で問題を解決出来るようになった。 明るい時間に各班へ広報を届けられるようになったため、安全性が向上した。 広報を各班に配布する際に、子どもが地域の方と交流する機会が出来た。 活動時間の短縮により、子ども会育成会役員の負担が軽減した。 子どもたちにとって、地域活動に対する興味関心を高める機会になった。		
	◎取組をWEB等で告知している場合はそのURLを書いてください。		

取組の実施期間	始期： 2025 年 5 月～	☒ 継続予定 ☐ 令和 年 月終了 ☐ 令和 年 月頃終了予定 該当するものに ☒ し必要事項を記入してください。
今後の活動展開など	◎今後の成果の普及や活動展開などについて書いてください。 広報の仕分けを協働することで芽生えたチームワークと、子どもの地域活動に対する興味関心を今後の子ども会活動に生かしていくことで、子どもと保護者同士の交流がさらに活発になることが期待できる。また地域の方とも情報を共有しながら交流することで、地域全体の相互理解と安全な地域活動が推進されることが期待できる。将来的には、子どもと保護者、地域の方がお互いを尊重しつつ、それぞれが役割を持って魅力的なまちづくりに関わっていけるような未来に繋げていきたい。	

協働による効果	◎協働したことにより達成できたことや得られた効果を書いてください。 子どもたちと地域の方が顔見知りになった。（広報配布時に、栽培したきゅうりを頂きました。） 高学年の子どもたちから、子ども会活動にもっと主体的に関わりたいという意見も聞かれるようになり、実際ラジオ体操や地藏盆の際に積極的に運営に参加してくれた。	
※協働団体が他分野にわたっていることや、各団体の関わりの深さも評価の対象となります。 ※足りない場合は欄を追加してください。	団体名	中井町内会
	団体種別	☒ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☐ 企業 ☐ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）
	役割	「子ども会」の支援、「安全・安心・町づくり」を、施設・運営
	団体名	
	団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☐ 企業 ☐ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）
	役割	
	団体名	
	団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☐ 企業 ☐ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）
	役割	
	団体名	
	団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☐ 企業 ☐ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）
	役割	
	団体名	
	団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☐ 企業 ☐ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）
	役割	
	団体名	
	団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☐ 企業 ☐ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）
	役割	